

# 令和3年度 決算

# 町税は減収するも ふるさと寄附金増でカバー

**歳入** コロナ影響で町税は前年度比3億2千万円減だが、ふるさと寄附金は前年度比6億7千万円増でカバー

- 個人町民税 納税義務者増もコロナ影響 1億438万円減
- 法人町民税 自動車関連企業減益 6862万円減
- 固定資産税 コロナ対応の特例措置 1億7019万円減

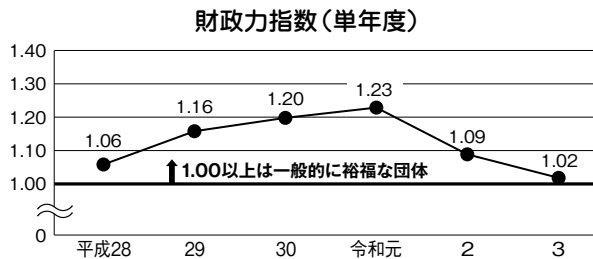
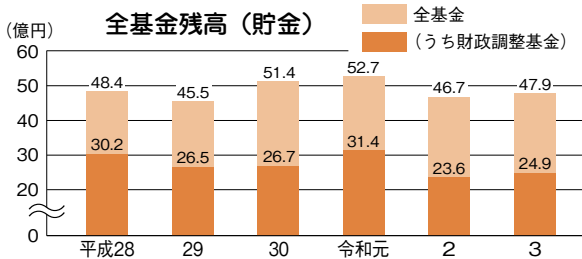
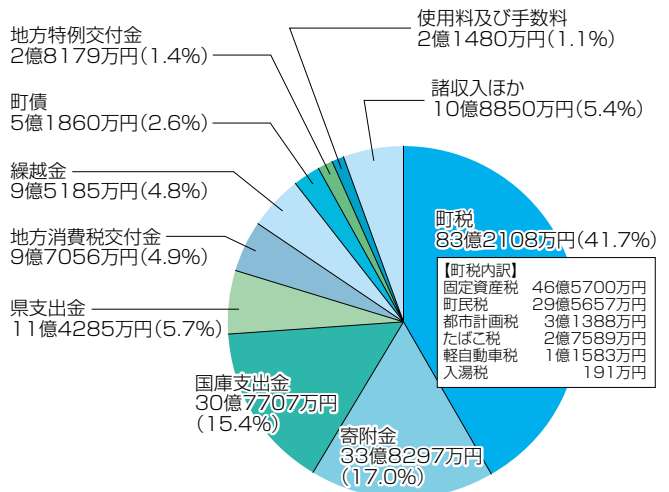
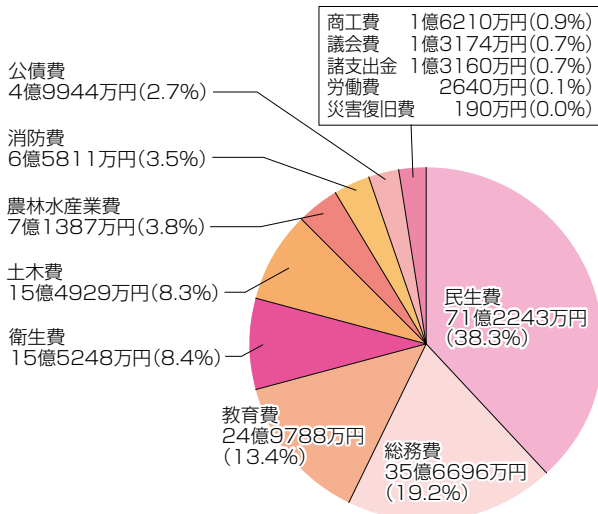
**歳出** 前年度から継続したコロナ対策の追加事業

- 主なコロナ対策
- 子育て世帯臨時特別給付金(10万円/人) 7億9240万円
- 住民税非課税世帯等臨時特別給付金 1億6870万円
- 低所得子育て世帯生活支援特別給付金 1990万円
- コロナワクチン接種 3億2134万円

## 一般会計の決算額

**歳出 186億1420万円**

**歳入 199億5007万円**



**令和3年度決算審査意見書**  
監査委員 山下 力  
水野 千代子

決算審査に付された各会計歳入歳出決算書等は、いずれも関係法令等に準拠し作成され、その計数は正確で、予算の執行は概ね適正と認められた。

令和3年度決算では、町税全体で減収するも、ふるさと寄附金は、積極的な取り組みにより前年度を上回った。財政指標の健全化判断比率等は健全な数値と認められた。不確実な面のある歳入財源、各種事業費等歳出の増加要因から、今後も予算を許さない状況が続くと思われる。事業目的や目標への的確な予算配分等を含め、適正な公金支出に心がけ、町の発展、より良い行政サービスのため、一層の職務に精励されたい。

# 決算特別委員会での主な審議

## 総務教育関係

・深溝小学校整備構想作成

**問** 深溝小学校プール撤去後は、どこで水泳授業を行うのか。

**答** 町民プールを利用する予定。

・社会体育施設事業

**問** 町総合体育館建設の考えはあるのか。

**答** まずは用地確保であり、次に民間活用を含め考えたい。

・庁舎食堂改修

**問** 庁舎カフェの利用状況はどうか。

**答** 日当り35人程度の利用者で、採算はとれている。

・空き家利活用事業

**問** 「古民館081」の利用状況は。

**答** 3カ月のプレオープンでの利用者は741人。駐車場不足であり、公共交通を含め検討する。

**問** ふるさと寄附金他市町村へのふるさと寄附金をした町民の人数と金額は。

**答** 2868人。2億3008万円。

**問** 放課後児童対策事業児童クラブプーCT化推進における、入退室管理の実施は。

**答** 令和5年度からデジタル化し入退室管理や事務軽減を図る。

## 福祉産業建設関係

**問** まちづくり会館建物解体

**問** 解体した「まちづくり会館」の跡地利用はどうか。

**答** 将来は芦谷高力線道路拡張関連用地とする。

**問** ロケツーリズム事業

**問** ロケツーリズム事業は効果の数値化と、町民へ効果の発信

によるアピールを。

**答** 令和3年度は、3本の映画など9作品を誘致。SNSなど活用し魅力を発信する。

**問** 母子保健の産後ケア事業

**問** 産後ケアのデイサービス・宿泊型の利用者が少ない。周知不足では。

**答** 赤ちゃん訪問時や検診時に、再度周知していく。

**問** まちづくり会館建物解体

**答** 将来は芦谷高力線道路拡張関連用地とする。

**問** (2日間にわたり、これらを含む70件超の審議を行った。)

## コロナで減少 響いた予算 石原 昇議員

一般会計歳入歳出決算認定、歳入総額は、約199億5000万円、対前年度比約30億3500万円、13.2%減少。要因は、町民税及び固定資産税がコロナウイルス感染症の影響で減少したためである。

歳出では、約186億1400万円、対前年度比約37億1980万円、15.5%の減。

減少予算の中、小中学校のエアコン設置、庁舎屋外トイレ改修工事等、多岐に渡って遂行されている。

賛成 反対

討論

## 暮らし応援の町政を 丸山千代子議員

ふるさと寄附金は依存財源ではない。大企業に超過課税適用で財源確保を。デジタル田園都市国家構想、長嶺福祉医療ゾーン構想など開発は見直しを。コロナ禍で町民の暮らしは厳しい。暮らし応援の町政を。

## 慎重な財政運営を行うべき 伊澤伸一議員

道の駅へのホテル誘致の内容も分からないのに、職員派遣費用を含む補正予算には賛成できない。安倍元総理が進めたアベノミクスが失敗し、暮らしも財政も苦しくなる。狭の空き家など不要不急、効果の期待できない事業等への支出を含む決算は認められない。

## 一般会計・特別会計・企業会計の決算額と採決結果

会計区分		歳入	歳出	採決	
一般会計		199億5007万円	186億1420万円	反対2：賛成13で認定	
特別会計	土地取得	2億5916万円	2億1996万円	全員賛成で認定	
	国民健康保険	32億5083万円	32億4408万円	反対1：賛成14で認定	
	後期高齢者医療	4億8367万円	4億8301万円	反対1：賛成14で認定	
	介護保険	21億8568万円	21億3059万円	反対1：賛成14で認定	
	幸田駅前土地区画整理事業	1億9798万円	1億9358万円	全員賛成で認定	
	農業集落排水事業	3億6314万円	3億6314万円	反対1：賛成14で認定	
企業会計 (税別)	水道事業会計	収益的収支	8億7723万円	6億9152万円	反対1：賛成14で認定
		資本的収支	7525万円	3億3865万円	
	下水道事業会計	収益的収支	6億6286万円	6億5323万円	反対1：賛成14で認定
		資本的収支	3億1204万円	3億8601万円	